

応募のきっかけ

僕たちの住む福井県奥越地方は、町の中心部に歴史の面影を残しつつ、いたるところで地下水が湧き出ている「名水のまち大野市」と、県立恐竜博物館のお膝元でもある「恐竜のまち勝山市」からなります。

これらの地域のある福井県ですが、北陸新幹線が2023年に延伸整備、開業を迎え、将来的には京都・大阪までつながることが計画されています。一方で、2020年にはインバウンド人口の年間4,000万人を目指している日本にあって、外国人における都道府県別訪問率ランキング(JNTO)、都道府県別外国人延べ宿泊者数(JNTO)、外国人訪問人数(RESAS)などのデータからも分かるように、福井県はインバウンドに関しては全国的に(最)低位にあります。

ハード面(新幹線)、ソフト面(インバウンド目標)の両方が話題として上がる今こそチャンスだと考えます。外国人観光客にあまり知られていないからこそ、伸びしろが期待できます。地域全体の課題として、「今、動き出さなければ、この先ずっと何も変わらない、変わらないどころか取り残されていく地域」になるのでは、という思いを強く持っています。

僕たちの住む奥越地方は北陸新幹線が通らないエリアです。新幹線が通らないエリアだからこそ隠れている様々な資源を発掘し、広めたいと考えています。つまり、僕たちの地域を知ってもらうことイコール、クールジャパン資源の発信になると考え、応募させていただこうと思いました。

情報収集活動 1

外国人観光客はほとんど見られない地域であることから、街なかで直接的にリサーチすることは不可能と判断し、福井県立大学と大野市役所、外国人観光客の受入実績のあるプロジェクト、及び宿泊施設にお願いをして、外国人のニーズに関する情報収集活動(取材、インタビュー)を行いました。

結果としては、かなり有力な情報を得ることができました。

情報収集活動 1

(1) 福井県立大学のアジア圏(台湾、ベトナム、中国)留学生

「奥越地方について知っていること、日本の生活の中での興味や関心」

- ① 巫女衣装を着るとアニメのキャラクターになった気分になれると思う。
- ② 観光は見たり、モノを買ったりするだけで体験の経験はない。
- ③ 日本の文化・日本人の生活を体験したくて日本に来ている。
- ④ 武家屋敷に行ってそこでお茶を飲んでみたい。
- ⑤ 座禅体験をしてみたい。
- ⑤ 銭湯に行くとりフレッシュすることができる。



情報収集活動 1

(2) 大野市在住フランス人(国際交流員:大野市職員マチルド様)

「外国人から見た大野市・奥越地方について、日本の生活の中での興味や関心」

- ①奥越地方の田園風景、鉄道風景はジブリ映画に出てくる風景のようだ。
- ②見ても分からないことが多いから様々な体験がしたい。地域を知るには体験することが大事。



情報収集活動 1

(3) 小原ECOプロジェクト

(平成27年度ふるさとづくり大賞:内閣総理大臣賞受賞 代表:國吉一實様)

「外国人の受入実績や受け入れることの意味について」

- ① ツアー参加者は台湾の学生やヨーロッパの方たちが多い。
- ② 日本人が当たり前になっている日本文化に気付かないといけない。
- ③ このプロジェクトは日本の文化をたくさん楽しむことができる。

※活動場所の現地視察とともに、各種体験をさせていただいた。



情報収集活動 1

(4)外国人ゲストハウスオーナー(ナマケモノオーナー:二見祐次 様)

「外国人宿泊者、レンタサイクルについて、外国人の受入実績や受け入れることの意味について」

- ①台湾の方はリピーターが多い。
- ②タイの方はあまり銭湯に入らない。
- ③外国の方は農業の体験をしている人は少ない。
- ④ヨーロッパの方は距離的な問題でダイレクトには呼び込めない。
- ⑤巫女の衣装はアニメのようだと喜んでくれる。
- ⑥ブロガーの口コミで来る人が多い。
- ⑦台湾には福井県を掲載した実績のある冊子「秋刀魚」、大野市を掲載した実績のある冊子「青花魚」がある。



情報収集活動 1

(4)外国人ゲストハウスオーナー(ナマケモノオーナー:二見祐次 様)

「外国人宿泊者、レンタサイクルについて、外国人の受入実績や受け入れることの意味について」

- ⑧大野市の魅力は、都会にないものがある。観光地化されてないから逆によい。
- ⑨まちなかを散策する時に、レンタサイクルを利用することで、細かい路地裏に入ったり、マニアックな場所を知るきっかけになっている。
- ⑨銭湯に関して、薪のみで湯を沸かす銭湯が残っているのは福井県内でも大野市だけ。お風呂の入り方を教えてもらった外国人観光客は、市民と触れ合えたことが楽しかったとのこと。



情報収集活動 1

(5) 圓立寺・瑞祥寺の住職

「外国人への座禅・写経・水行・鐘つきの各種体験について、今後の寺町通りの活性化に向けて」

- ①冬に、外国人の方に大野の名水で行った「みそぎ体験」は喜ばれた。
- ②作務衣を着用して行う体験は住職を感じることができる。
- ③釣鐘を鳴らす体験は外国人受けする。
- ④将来的には「寺泊」を検討中。

※座禅体験をさせていただいた。



情報収集活動 1

(6) 大野市・勝山市在住のALT(アンケート)

「奥越で楽しかったこと、やってみたいこと、外国人から見た魅力」

- ①着物を着てみたい。浴衣は可愛くてもう一度来てみたい。下駄は格好よく見えるが歩くのが難しそう。
- ②大野市の水はナンバーワン。美味しくてきれい。
- ③奥越の山に登りたい。自然がとても美しい。
- ④化石発掘体験をいろんなところでしてみたい。一度も体験したことがないのでやってみたい。発掘というアイデアは良いと思う。
- ⑤サイクリングで高原に行き、星をみたい。小川、路地を見て回るのが一番楽しいと思う。大野市をサイクリングするのは景色が美しく楽しい。
- ⑥大野城に行ってみたい。
- ⑦武家屋敷でお茶を楽しみたい。武家屋敷は楽しそうな歴史体験。絶対に行ってみたい。

情報収集活動 1

(6) 大野市・勝山市在住のALT(アンケート) 続

「奥越で楽しかったこと、やってみたいこと、外国人から見た魅力」

- ⑧朝市は、新鮮なものがあるイメージ。もう一度行ってみたい。
- ⑨日本酒、和菓子も好き。
- ⑩お寺は面白くて美しい。座禅の経験はあるが、チャンスがあるならもう一度したい。大野市のお寺、神社に行ってみたい。寺に行くのは他の文化を見ることで面白い。
- ⑪大野市の銭湯は最高だった。
- ⑫人力車は京都でよく見る。とても楽しそう。
- ⑬うちわ、扇子、甚平、酒セット、日本茶を母国に持って帰りたい。

情報収集活動 2

外国人の対応経験や受け入れの可否を含めて、どういった可能性が秘めれているかを見つけるための情報収集活動(取材、インタビュー)を行った。地域の発展に対して、協力的に考えてくれる方や店舗が多かったのが嬉しかった。

情報収集活動 2

(1)菓子店 「大野市のお菓子文化、お菓子作り体験・見学、外国人の喜ぶモノ・コトについて」

- 1 松田陽明堂
- 2 しまだ亀寿堂
- 3 杉本清味堂



(2)酒蔵 「見学・試飲・升づくりについて」

- 1 南部酒造場
- 2 眞名鶴酒造場
- 3 源平酒造
- 4 一乃谷宇野酒造



(3)醤油屋、醤油蔵 「しょうゆ作り体験・醸造所の見学について」

- 1 野村醤油
- 2 山元醤油

情報収集活動 2

(4) 銭湯 「外国人利用について、タトゥーについて」

- 1 亀山湯
- 2 東湯
- 3 キューピー湯



(5) 神社 「外国人の作法体験について」

- 1 篠座神社

(6) 宿泊旅館 「外国人の対応について」

- 1 やよい
- 2 こし路荘
- 3 三浦屋
- 4 たわらや
- 5 扇屋
- 6 にしき



情報収集活動 2

(7)土産品店 「外国人のお土産・体験について」

1 もっこ(手工芸・工房店)



(8)呉服店 「外国人の着付け体験について」

1 きせや ※外国人男性は体が大きいいため、数に限りがあり難しい。

(9)大野市内各種協会、法人、まちづくり会社等

1 大野市観光協会 「人力車ルート・料金・外国人利用者について」

2 一般財団法人越前おおの農林楽舎 「観光体験(農業体験)の取り組みについて」

3 公益社団法人大野市シルバー人材センター 「外国人との料理体験について」

4 株式会社まちづくり55.5 「料理体験などの場所の提供について」

5 九頭竜舞茸工場 「工場見学について」

6 舞茸農家(平野様) 「舞茸弁当について」

7 奥越前まんまるサイト 「農業民宿・外国人利用者について」

情報収集活動 2

(10)大野市、商工会議所

- 1 大野市役所商工観光振興課 「大野市へ来る外国人観光客について」
- 2 大野市化石発掘体験センターHOROSSA 「化石発掘体験について」
- 3 笛資料館取材 「笛づくり体験について」
- 4 武家屋敷 「飲食について」
旧田村家
旧内山家

(11)勝山市、勝山市内まちづくり会社等

- 1 はたや記念館ゆめおーれ勝山取材 「織物文化の歴史・外国人利用者について」
- 2 勝山市観光まちづくり株式会社 「外国人利用者の食事について」
- 3 勝山市役所観光政策課(電話取材) 「勝山市へ来る外国人観光客について」

情報収集活動 3

近年は、新聞記事の中に観光に関するテーマが多く掲載されており、本校では、それらの記事を使った授業も取り入れていることから、過去2年の記事の中から関連するものを拾ってみました。参考になる情報がたくさんありました。

情報収集活動 3

(1)台湾人気雑誌 福井を発信

・・・福井には豊かな食文化や自然があるが台湾ではまだ知名度が低くまっさらなイメージ。親日派で訪日経験も豊かな台湾の人たちに新しい旅のスタイルを提案するうえで最適のモデルになりうる。(2017年3月13日付 福井新聞)

(2)外国人に響く誘客発信は？ 日常の良さ見いだして

・・・外国人に向けた地方の魅力発信を考える福井新聞まちづくり企画班の講座にて、訪日外国人客向け里山サイクリングツアーの運営会社によると、海外から見れば日本はワンダーランドで、自分たちにとって当たり前の日常が外国人の非日常であり、身近にある良さを見いだすことが大事。稲穂が実る風景、小さな水路、寺社などを巡る内容のツアーを目的に来日する観光客も増えてきた。(2017年3月19日付 福井新聞)

情報収集活動 3

(3) 地域資源フル活用を 観光庁長官、来県し講演

・・・2015年の3大都市圏と地方部の外国人延べ宿泊者数の前年比を比べると、3大都市圏39%増、地方部が59%増であるとし、「福井も含めて地方の伸びしろはまだまだ大きい」と強調。

観光地での滞在時間の長さとお費額が相関関係にある点に触れ、「長い時間とどまってもらうため、文化財の見せ方を工夫したりする取り組みが大切。(2017年3月19日付 福井新聞)

(4) 訪日客にローカル体験を 誘致支援企業の村山氏講演

・・・地元の人との交流、触れ合いが価値になる。外国人目線を大切にして普段の生活にある魅力をどう商品化していくかが大切。(2017年3月23日付 福井新聞)

情報収集活動 3

(5)外国人宿泊者数 全国ワースト 海外と直接つながりを

・・・福井の魅力を海外に発信するサイトの中で、意識しているのは、暮らしの中にある身近な魅力をどう伝えるか。観光客誘致が主目的ではなく、福井の魅力の再評価を狙いとしている。(2017年3月23日付 福井新聞)

(6)伝統の食 再認識し外国人誘客図って

・・・インバウンド促進セミナーにおいて、レストランジャーナリストの講演では、「外国人の日本旅行の目的の一つは食」としたうえで、「無理な高級な料理を作っても長続きしない。ずっと変わらない食を再認識し、ブラッシュアップしていくべき。日本のもてなしは、相手に合わせすぎる傾向にあり、外国人に合った食材、調理法にこだわらず、自分たちをどのように見せるかが大事。(2017年4月24日付 福井新聞)

情報収集活動 3

(7) 香港客喜ぶ観光とは？ 訪日旅行会社社長、講演

・・・体験をした時に(SNS等で発信できるよう)証明書のようなものを進呈すると喜ばれる(2017年12月5日付 福井新聞)

(8) 論説 訪日客5年連続最多更新 県内波及へ知恵絞りたい

・・・日本政策投資銀行がまとめたアンケートでは、関西訪問歴のあるアジアの観光客の約95%が「地方に旅したい」と回答。体験したいこととして「自然観光地を訪れる」と「温泉を楽しむ」が6割強に上り、「歴史的な街並み」「郷土料理」へのニーズも多かった。(2017年1月12日付 福井新聞)

情報収集活動 3

(9) 県内観光 素材で勝負 県アカデミー受講者発表

・・・日本文化に興味を持つ外国人を迎える拠点として「宿坊民泊の事業化」を掲げ、その中で食や作務衣を外国人好みにすることで、特産品の開発も進む。(2018年1月31日付 福井新聞)

(10) 海外から福井旅行

・・・禅や田舎に興味がある。(2018年3月28日付 福井新聞)

情報収集活動 3

(11)地域の魅力磨けるか 新幹線延伸 観光への影響

・・・観光客が増えるかどうかは、駅の有無や駅からの距離で決まるわけではない。(2018年4月15日付 福井新聞)

(12)越前加賀インバウンド機構 外国人宿泊昨年3割増

・・・外国人宿泊客で最も多かったのは台湾人で全体の6割。台湾からの観光客は自然景観や神社仏閣などへの関心が高い。(2018年5月23日付 福井新聞)

僕たちが考えたコンテンツ

奥越地方の時代をめぐる
「タイムスリップ」ツアー

ツアーストーリー

様々なところに情報収集に行き、いろいろな方の話を聞き、僕たちの地元には海外に誇れるモノ・コトがたくさんあることに気が付けたことが新しい発見でした。これらのモノ・コトをどのようにすれば効果的に発信できるかを考えた結果、テーマ性のあるツアープランが最も効果的だと考えました。

題して、【奥越地方の時代を巡るタイムスリップツアー】です。

ローカル鉄道と路線バスなどをタイムマシンに見立て、奥越地方の時代を遡る、いわゆるタイムスリップを疑似的に体験することができます。田園風景、近い山肌を間近に見ながら福井市・大野市境のトンネルを抜けた瞬間から、最初のタイムスリップ旅の始まりです。

最大の特徴は、いろいろな時代にタイムスリップして、その時代に合った様々な身分の暮らしを各種体験を通して知り、その時代を知ることができることです。

ツアーの特徴

最大の特徴は、いろいろな時代にタイムスリップして、その時代に合った様々な身分
①住職 ②貴族 ③商人 ④農民 の各種体験を通して、当時の暮らしや日常生活に思いをはせながら、その時代を知ってもらいたいと思います。

- ①住職: 400年以上の歴史を持つ寺町通りでお寺ならではの体験と精進料理を堪能
- ②貴族: 130年前の武家屋敷でのお茶タイムと人力車
- ③商人: 1000年以上歴史を持つ神社での作法体験、商人として150年の歴史を誇る
醤油蔵元での醤油造り、300年前から伝わる伝統銘菓作り体験、400年の歴史を誇る朝市散策
- ④農民: 里山に暮らす人々が数百年もの間、守り続けてきた日本の原風景とも言える山間集落での農民体験。

1 住職ツアー

田園風景、峡谷、素朴な山里を車窓から眺めながら小一時間の列車旅。次第に、別世界に連れて行かれるかのように近付いてくる山肌、手が届きそうな木々。まるでジブリ映画のワンシーンのような景色。真っ暗なトンネルを抜けると、目の前には広々とした大野盆地が。さあタイムスリップの始まりです。

大野市には3つの銭湯が残っています。すべての銭湯で大野の名水を使用しているため、風呂上がりの気持ち良さが全く違うとされています。

前日：
福井ST～大野ST～ゲストハウス(ナマケモノ)～銭湯(キューピー湯)～ゲストハウス(ナマケモノ)

AM：
朝食～瑞祥寺～円立寺～昼食(精進料理:うおまさカフェ)

400年以上前に作られた寺町。違う宗派を一度に体験できます。

PM：
市内散策『酒蔵・呉服屋・工房等の見学』～銭湯(あずま湯)～旅館『リストから好みの旅館を選びます』

瑞祥寺では作務衣を着て、写経・座禅体験を、円立寺では水行『大野の名水を浴びる』体験します。また、木魚を叩いたり、つり鐘を鳴らすこともできます。

市内散策も作務衣を着たまま徒歩、レンタサイクルで回ります。

2 貴族ツアー

AM:

朝食～**作法体験・巫女体験**(篠座神社)～**越前大野城**～昼食『仕出し料理屋弁当』のリストからお好みを選びます』

巫女衣装を着て、
アニメ「うる星やつら」を体感！

福井県は、古くから**繊維業**が盛んで、そこで働く**女性の手助け**となるよう魚屋さんが刺身や焼き物、酢の物などの加工品を作っていたことから**仕出し料理屋**が多いと言われています。

武家屋敷旧内山家は、**130年余りの歴史**がある**国の登録有形文化財**。

PM:

武家屋敷旧内山家・旧田村家～銭湯(亀山湯)～市内散策『前日の続き』～旅館

すべて徒歩圏内ですが、希望により**人力車体験・着付け体験**(三人まで)をすることができます。

人力車に乗って、
アニメ「はいからさんが通る」を体感！

着物を着て**人力車**に乗ると江戸時代の貴族の気分が味わえる。

旧内山家では13:00～15:00の間、抹茶・和菓子を中庭でいただくことができ、風流を感じながらのんびりとした時間を過ごします。

旧田村家には、**江戸時代から残る石垣**があります。時代を感じ、ゆっくりと時間が流れるなかでお茶を頂きます。

3 商人ツアー

400年近い歴史の朝市

料理体験・七間朝市を通し、大野の人の温かさを感じます。

AM～PM:

朝食～七間朝市・シルバーハウス『昼食の食材選び』～昼食づくり兼お菓子作り(五番商店街 Popolo.5)～

～醤油づくり体験(野村醤油)～夕食『醤油かつ丼:お食事処しもむら』

…《JR越美北線》…和泉村～国民宿舎(パークホテル九頭竜)

大野市の「奥」、和泉村へ。暗闇のなか、越美北線でさらに奥地へ進む様は、別の世界にタイムスリップしていくかのよう。ここでも、ジブリ映画のワンシーンのような光景を！

お菓子作り体験では、帆前掛けをして大野市発祥の400年近い歴史のある『けんけら』作りや、餅つき体験『おはぎ・きなこ餅等』、饅頭の焼印体験をします。作ったお菓子、お餅は午後3時のおやつにいただいた後、醤油作り体験(野村醤油)へ向かいます。

4 歴史まるごとツアー

AM:
朝食～**笛づくり体験(笛資料館)**……《バス》

道の駅と鉄道の終着駅が
同じ場所にある珍しさ。

PM:
……《バス》……**現地化石発掘体験**……《バス》……昼食(道の駅九頭竜)……《JR越美北線》……大野ST

笛作りは、道の駅から徒歩5分にある笛資料館で行います。

全国で8管しか残っていない「青葉の笛」をはじめとする笛を中心とした和楽器の歴史も学ぶことができ、さらに実際に笛を吹くこともできます。

昼食は、道の駅九頭竜で地元の方の手作りの舞茸弁当『舞茸は特産』を食べます。

またまた日本の文化の一つ「**地域産弁当**」。
この弁当をJR越美北線の車中で食べれば、
誕生して**130年以上になる「駅弁」文化**の味わい。

……《路線バス》……勝山市～はた織体験(はたや記念館:夢おーれ勝山)～夕食(花月楼)～ホテル(勝山ニューホテル)

花月楼は、**築110年、明治後期に建てられた文化財**。
独特の建築様式「**傘天井**」は一見の価値あり。

5 農民ツアー①

小原地区は、勝山市の「奥」

朝食・・・《コミュニティバス》・・・小原地区『小原ECOプロジェクトによる体験①』～民泊(フクジュ荘)

主な内容は、農業体験『グリーンツーリズム』や勝山市の伝統料理笹寿司づくり、古民家の修復等です。笹寿司に使う笹の葉は、小原地区の山に入り 自分の手で取ります。そして夜は、街灯一つない暗闇の中で満天の星空を観測します。

古民家の修復とは、『例：障子貼り、雑巾がけ等の日本文化の体験』

障子張りや雑巾がけ・・・。
私生活の何気ないことも、日本の田舎文化として捉えることができます。ジブリ映画の雑巾がけのシーンと重なります。

小原地区の星空は、日本一とも言われています。

6 農民ツアー②

終日：
小原プロジェクトによる体験②～民泊(フクジュ荘)

主な内容は、引き続き農業体験『グリーンツーリズム』そして、木を切り、椅子やテーブル作り。

そして、現地化石発掘体験をすることができます。

昼食・夕食は自分たちで作ります。

日本一の星空とともに、当ツアー最後の夜を過ごします。

小原地区では、終日、自給自足の生活になります。

7 近代ツアー

朝食・・・《コミュニティバス》・・・福井県立恐竜博物館～野外発掘～昼食『恐竜バーガー』～勝山ST・・・《えちぜん鉄道》・・・福井ST

恐竜博物館は20世紀『2000年7月』に造られた**恐竜の卵型が印象的な**近代的な建物です。その中で**約2億5000万年前の恐竜**について学びます。

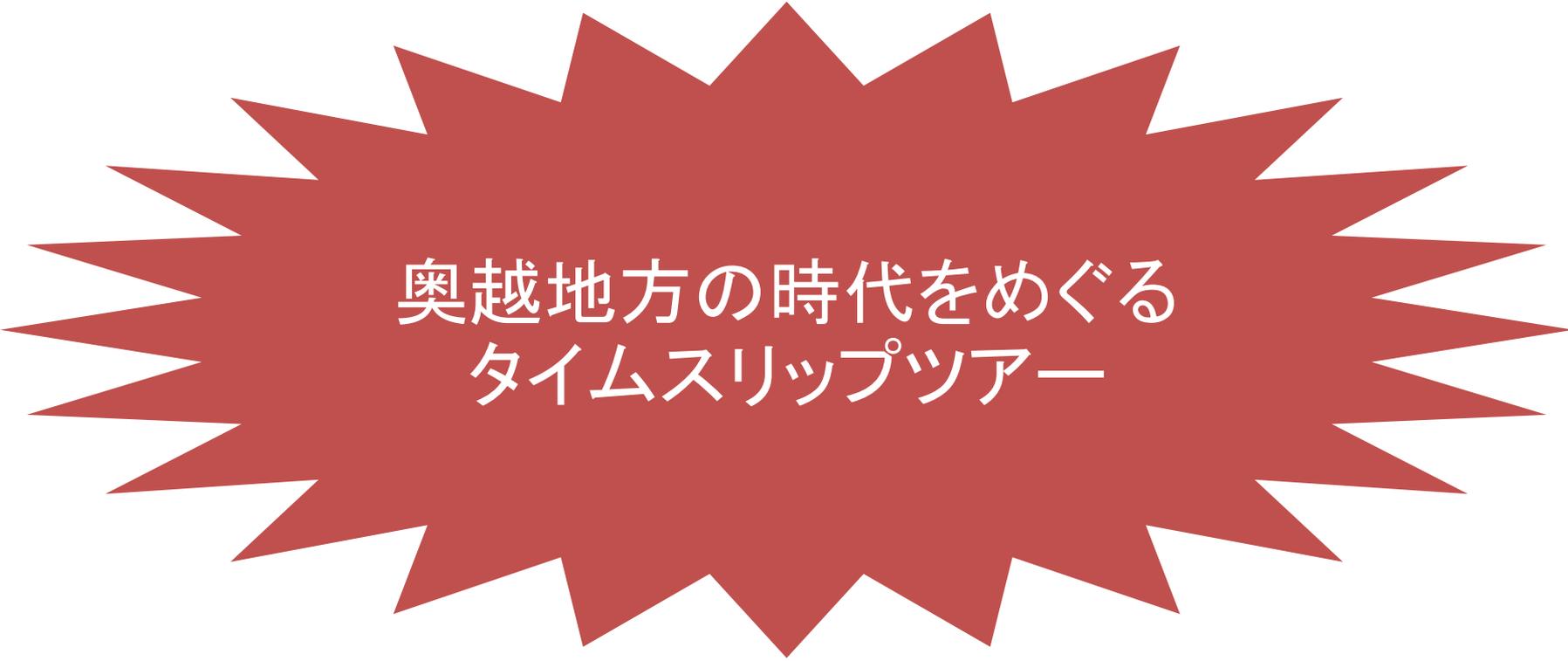
近代的な建物ですが、中に入るとエスカレーターがあり、それは古代への**タイムスリップ**をイメージしており、**館内でもタイムスリップ**感を味わえます。

野外発掘体験後、昼食は近代的な食、ファストフード(恐竜の足跡をイメージした恐竜バーガー)を食べます。

えちぜん鉄道勝山ST～福井ST

別世界のような田舎暮らしから賑わいのある福井市へ**タイムスリップ**。現実に戻されたかのような感覚になりながらツアー終了。

ツアー1～7を
自由に組み合わせたり、
自分好みに順番を変えたりしながら
カスタマイズします。

A large, red, multi-pointed starburst graphic with a jagged, sunburst-like edge, centered on the page. It contains white text.

奥越地方の時代をめぐる
タイムスリップツアー

ターゲットとなる地域

台湾・香港

・物理的

日本から距離が近く、来日意向を喚起しやすい。

・アニメ要素

アジアには日本のアニメ・マンガ文化に興味を持っている人が多く、特に台湾、香港には多い。当プランは、風景、各種体験など、様々なシーンで日本のアニメ要素を感じることができるようになっており、日本アニメのファンにとっては魅力的なツアーです。また、滞在期間中に「恐竜時代から今日まで」、古生代～近世～近代～現代を往来するような感覚や、その歴史の中でタイムスリップしたかのような感覚を楽しむことができ、日本の歴史好きには楽しみな企画が盛り込んでいます。

例えば、タイムマシンは「ドラえもん」、JR越美北線(福井ー大野)やえちぜん鉄道(勝山ー福井)から見える景色、小原ECOプロジェクトでの雑巾がけの体験シーンなどはジブリ映画に出てくるような光景であり、自分が映画のワンシーンに入っている感覚になります。さらには、神社での巫女体験は「うる星やつら」、街なか散策時の人力車は「はいからさんが通る」など、あらゆる場面で日本アニメを体感できます。

ターゲットとなる地域

台湾・香港

・食

台湾・香港を含む2014年の電通のジャパブランド調査では、興味・関心があるランキングトップ10の中で1位である日本食は、特に東アジアの評価が高い。また、日本酒を飲んだ経験が多い国ランキングは1位台湾、2位香港となっており、当プランには酒蔵巡るコースが盛り込んであります。

大野市は、古くから城下町として栄え、街なかには碁盤の目状となっており、この碁盤の目には寺院や菓子屋、醤油醸造所・酒蔵が多く、昔の人々はこの碁盤の目の中で生活してきました。碁盤の目を中心に栄えたお菓子屋や、醤油、味噌醸造所・酒蔵などのお店は、名水百選、平成の名水百選、水道水が美味しい街ベスト5に選ばれている水を使い、お菓子、醤油、酒などはこの水を使っています。歴史上にタイムスリップしながら、大野市の水の素晴らしさを知ってもらうことができます。

勝山市では、山間集落での体験のため、滞在期間の食事はすべて自炊になります。伝統郷土料理を一から作ることで、その料理の本質を知り、国をまたいで時代の継承者になってもらうことができます。

・リピーター

大野市に限れば、「日本(大野市)を深く知りたい人が何度も訪れている」。
(ゲストハウス「ナマケモノ:オーナー 二見様へのインタビューより」)。
台湾や香港の来日客はリピーター率は高い(JNTOより)。

どのようにストーリー化したか

僕たちはすべて事実をもとにしてツアープランを組みました。海外に発信できるツアーとして、「ホンモノ」のツアーにするためです。考えていても始まらない、現場に情報は落ちていると言わんばかりの勢いで取材を重ねました。そして、机上の空論にならないよう、一つ一つの行程すべてに取材での裏付けを取りました。「仮の話ではありますが、ツアープランとして組み込もうと思いますが、可能でしょうか？」というところまで確認を取りました。断られたこともありましたが、その時は、持ち帰って別の可能性を探りました。

今回の活動を通して、海外に向けた日本の文化の発信は、既存の資源に対して視点を変え、ちょっとした付加価値を付けるだけで、地域としてのストーリー性のある資源になることを、自分たちで見つけることができたと思います。

「奥越はまるでジブリ映画のような景色」という外国人の何気ない一言が転機になり、アニメ要素、タイムスリップ、歴史といったキーワードが浮かび上がってきました。僕たちの住む奥越には、まだまだ可能性のある資源、文化があると思っています。